

「スチューデントサクセスワークショップ(SSW)」APS特別クラスへのお誘い

APS特別クラス:4ヶ月集中

1回生時に高校とは異なる大学の学びに挑戦しませんか？

※本案内は**2026年度春、APS、日本語基準、1回生入学者**を対象としています。

●スチューデントサクセスワークショップ(SSW)とは

APUでは1回生の最初のセメスターで必ず受講する科目に「スチューデントサクセスワークショップ(SSW)」という科目があります。これは、大学で主体的に学び、問う(学問をする)ことを学ぶことが出来るようになることを「学生の成功(Student Success)」と捉え、新入生が学生としての成功を実現することを支援することを目的とした科目です。

●APS特別クラスとは

ただ、みなさんの中には既に高校のうちに主体的かつ探究型の学びを経験した方もいるかもしれません。APSでは、そのような方が大学での専門性を念頭に入れたさらなる高度な学びを可能とし、大学での知的なワクワク感をフルに稼働しつつ、同時に**読むこと、書くこと、考えること、問うこと**のスキルをつけていけるよう、SSWの中にAPS特別クラスを設けています。

「スチューデントサクセスワークショップ(SSW)」授業概要

※授業内容は変更される場合があります。講義は教育開発・学修支援センターの先生が担当します。

第1週

- 科目の概要を知る
- 仲間と打ち解け合う

第2週

- 文章作法・文書体裁を守る
- 学習スタイルを把握する

第3週

- レポートの特徴を知る
- 学び合う下地をつくる

第4週

- 情報を集める・使う
- 学び方を振り返る

第5週

- 問いを立てる
- 時間を管理する

第6週

- 学習意欲を高める
- 出入口を明確にする
- 課題に合った学び方をする

第7週

- 研究計画を立てる

第8週

- アウトラインをつくる

第9週

- パラグラフライティングをする

第10週

- 序論・本論・結論を書く

第11週

- 推敲・校正する

第12週

- 学習スタイルを拡張する

第13週

- これからの学びを想像する

第14週

- 自己調整学習者になる
- アクションプランをつくる

「スチューデントサクセスワークショップ(SSW)」

APS特別クラスの授業概要

※授業内容は変更される場合があります。

第1回(全体クラス) オリエンテーション&自己紹介

- オリエンテーション 「APUとAPS学部の魅力について」・講義のオリエンテーション
- APS教授の紹介 専門分野と今の研究の面白さの紹介
- 学生からの自己紹介 それぞれの得意なこと、関心があること、感動したこと、すでに大学で勉強したいテーマがあればそれについて説明し、お互いの話で面白かったこと、興味深かったことについてことばを交わす。

第2回(全体クラス) 論文を書こう①:各自の研究テーマの発見

- 各学生からの手がけてみたい研究テーマの発表
- 教授からのコメントと学生のディスカッション
- 大学での研究テーマの見つけ方
 - a. 思考だけではなく、感性と感動、心の動きによって面白さやわくわく感をキャッチするアンテナを立てよう。それが自分の価値観でもあり、それを通じてテーマが見えてくる。
 - b. 文献のまとめ方、論文のリテラシーなど論文の基本的スキルを学ぶ。

第3回(テーマクラス) 論文を書こう②:より専門的に考えてみる

- 教授の研究領域:国際関係論、文化・社会学、政治学、グローバル経済、地域研究他
- テーマごとのグループ分け(一クラス15名程度)
- 担当の教授がそれぞれの分野についての魅力の紹介・質問コーナー
- 自分のテーマの紹介と文献の確認:文章の書き方・文献の選び方のスキルを学ぶ。
※最終成果は、テーマが重なったグループで進めるか、自らのテーマを自分で追求するかを考える。途中からグループになってもいいし、一人で探究してもよい。

第4回～第7回(回遊クラス) チームで現実的な問題の解決に挑む①

- 社会的テーマを専門の教授と一緒に考え、議論
- 各教授が、一つのテーマを用意し、少人数クラスで徹底して考え、全員で議論する。
- テーマ例
「アジア諸国は、なぜ民主化に足踏み、つまづきを見せているか」、「日露間の北方領土問題はなぜ解決しないのか」、「脳死は死なのか?」、「人に宗教は必要なのか?」、「格差をなくすことはできるか?」、「男と女の区別はよいのか?またLGBTQはどう区別されるか?」、「AIは人間を超えるか?」、「自文化中心主義っていいこと?悪いこと?それはなぜ?」、「民主主義は最適な方法なのか?」、「リアルってあるの?」、「ウクライナとロシアはどちらが悪いの?」、「移民は受け入れるべきか?それはなぜか?」

第8回(全体クラス) チームで現実的な問題の解決に挑む②

回遊クラスで学んだこと、考えたことを全体発表会

第9回～第12回(テーマクラス) 論文を書こう③:最終成果物に向けて

第3回までで進めていた最終成果物作成のためのクラス調整

- テーマによるグループ分け(3～4人、あるいは一人で進めることも可能)
- テーマ別のグループで議論をおこなう。
- 毎回の講義内でグループで成果物を作成しつつ、同時に教員からの個別指導を手厚くおこなう。
- 毎回の講義の最後に、その日の成果をクラス全員で共有する。

第13回～第14回(全体クラス)最終成果発表会

- 全グループ(個人を含む)発表
- 教授、卒業生、先輩の講評と優勝を決める。

● 学びの特徴

1. 論文を一人で、あるいはみんなで創り上げる: APSでは、卒業論文、卒業レポートが必修です。論文を書くために必要なことは「自分の問題関心に沿ったテーマを決定する」ということと、「論文を書くための作法」を獲得することです。
 - ① この講義では、様々なことを自分の心の動きや感性に触れさせ、4年間通じて探究して行けるようなテーマを決めていきます。
 - ② また、同時に研究の基本的な作法も学んでいきます。ただし、それは書くスキルを向上させるだけではなく、自分の問題関心を考えながら同時にそうした作法を磨いていくので、とても楽しい学びになります。
2. チームで現実的な問題の解決に挑む: とことん語り合い、議論し合うことにより問題解決に挑む。問うこと、議論すること、これこそが大学の醍醐味です。1回生時から大学教授や友人と白熱した議論をし、それによってリアルな問題の解決の糸口を提案しよう。

SSW APS特別クラスで、1回生時から卒業時の目標を掲げ、自らの研究テーマを見つけながら、論文の書くためのスキルを磨こう。また大学教授や友人ととことん議論をしよう。

対象者	日本語基準のアジア太平洋学部合格者のうち、以下のどれか1つでも当てはまる学生が対象です。 ● 1回生時からAPSの専門の教授と対等にディスカッションをしたい人 ● APSの専門の教授から研究や勉強についての指導を受けたい人 ● すでに勉強したいテーマをもっている人 ● 大学ではなによりも勉強に力を入れたい！勉強にやる気がある人 ● APSのオナーズに関心がある人 ● 大学院を志望している人 ● すでに高校でライティングの訓練を受け、論文を書いたことがある人 ● 高校で探究型学習を進めた人 ● すでに体験したアクティブラーニングの高度化した内容を学びたい人 ● すでに自発的に勉強をすることが好きな人
申請・選考方法	レポート課題で選考を行います。 以下のサーベイにご回答ください。 ・サーベイ: https://forms.office.com/r/eRLUdPhBRA ・レポート課題 問について考えたことを提出 ＊課題は3ページをご確認ください。
申請期間	2025年11月4日(火)～2026年3月2日(月)
募集定員	65名
結果発表	2025年3月19日(木) メールにて合否発表予定 ＊本申請の結果通知後のキャンセルはできません。



問い合わせ先: APUアカデミック・オフィス
apufye@apu.ac.jp (初年次教育担当)

SSW_APS特別クラスに入るための問題

受験が終わったみなさん、APUへようこそ！

今から大学の勉強が始まります。

大学の勉強は、「おもしろさ」や「わくわく」を動機に、自分の問いを問うていくことです。

まずはその練習も兼ねて、以下の問いに答えてください。

※課題の回答は2ページ目に記載しているサーベイに直接ご入力ください。

問題

下記の問いに答えてください。文字制限はありません。好きなだけ自由に書いてください。短くても構いませんが、あまり短すぎるとあなたの考えていることが表現できないかもしれないので、最低1000字程度は書いてください。

問：自分の考えていることを自由に書いてください。まずは自分の問題意識について問いを立ててみて、それに答えてみる形で書くと、おもしろくなっていきます。

補足問題：下記推薦図書の中から1冊選び、その魅力を教えてください。内容をまとめてもいいし、感想を書いてもいいです。また推薦図書の本に類似するものであれば、推薦図書以外の本でも構いません。

※補足問題は提出してもいいし、提出しなくてもいいです。提出した場合、クラス分けなどの参考にさせていただきます。

推薦図書



No.	図書データ
1	マルクス・アウレーリウス（2007）神谷美恵子訳『自省録』岩波書店
2	ヘルマン・ボーテ（1990）阿部謹也訳『ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら』岩波書店
3	エドモンド・バーク（2003）水谷洋、水谷珠枝訳『フランス革命についての省察ほか』（Ⅰ，Ⅱ）中央公論社
4	ガイウス・ユリウス・カエサル（2015）高橋宏幸訳『カエサル戦記集 ガリア戦記』岩波書店
5	孔子（1963）金谷治訳注『論語』岩波書店
6	チャールズ・ダーウィン（1990）八杉龍一訳『種の起原』（上，下）岩波書店
7	ルネ・デカルト（1997）谷川多佳子訳『方法序説』岩波書店
8	フェルドウスキー（1999）岡田恵美子訳『王書—古代ペルシャの神話・伝説』岩波書店
9	ヴィクトール・E・フランクル（2002）池田香代子訳『夜と霧（新版）』みすず書房
10	韓非（1994）金谷治訳注『韓非子』（第1冊，第2冊，第3冊，第4冊）岩波書店
11	ヘロドトス（1992）松平千秋訳『ヘロドトス 歴史』（上，中，下）岩波書店
12	ホメロス（1992）松平千秋訳『イリアス』（上，下）岩波書店
13	ホイジンガ（2001）堀越孝一訳『中世の秋』（1，2）中央公論新社
14	オマル・ハイヤム（1993）小川亮作訳『ルバイヤート』岩波書店
15	李攀竜編（2000）前野直彬注解『唐詩選』（上，中，下）岩波書店
16	ニコロ・マキアヴェッリ（1998）河島英昭訳『君主論』岩波書店
17	井筒俊彦 訳（1964）『コーラン』（上，中，下）岩波書店
18	フリードリッヒ・ニーチェ（1967）氷上英廣訳『ツァラトゥストラはこう言った』（上，下）岩波書店
19	トーマス・ペイン（2005）小松春雄訳『コモン・センス 他三篇』岩波書店
20	プラトン（1964）久保勉訳『ソクラテスの弁明・クリトン』岩波書店
21	マルコ・ポーロ（1970，1971）愛宕松男訳『東方見聞録』（1，2）平凡社
22	ウィリアム・シェイクスピア（1985）小田島雄志訳『シェイクスピア全集 ロミオとジュリエット』白水社
23	アダム・スミス（2000）水田洋、杉山忠平訳『国富論』（1，2，3，4）岩波書店
24	マックス・ウェーバー（1989）大塚久雄訳『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波書店
25	莊子（1971）金谷治訳『莊子』（第一冊〔内篇〕）（第二冊〔外篇〕）（第三冊〔外篇・雑篇〕）岩波書店
26	巖本善治編、勝部貞長校注（1983）『新訂 海舟座談』岩波書店
27	鈴木大拙（1968）『鈴木大拙全集 第8巻 日本の霊性』岩波書店
28	世阿弥（1958）野上豊一郎、西尾実校訂『風姿花伝』岩波書店
29	近松門左衛門（1977）祐太義雄校注『曾根崎心中・冥途の飛脚 他五篇』岩波書店
30	中村元訳（1984）『ブッダのことば スッタニパータ』岩波書店